

1. 開催年月日 令和5年11月22日
2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
3. 委員出席
委員総数 6名
出席委員数 4名

放送事業者出席者
1名

4. 議題

- ・局からの近況報告
- ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの報告

特別放送「原爆被爆体験記 中岡穂子さん」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局「8月に録音したインタビューだったが終戦記念日終了後だったので先に延ばし、9月21日の国際平和デーに放送した。90分以上あるインタビューを30分に編集している。貴重なものなので今後も、来年の終戦記念日、原爆の日などにも流していきたい。被爆者本人が語っているところが貴重だと感じている。」

A 氏「音の媒体で残すことが良いと思う。保存用としては編集せずに残して欲しい。たんとんと語っているのが恐ろしい。」

B 氏「戦争について、核についてのこれからどうするのか？ということについてのメッセージが強烈だった。」

A 氏「今の15歳、16歳がこのような体験ができるのか？と考えてしまう。」

C 氏「どのような部分を編集したのか？」

事務局「時系列を揃えるようにした。また、『使ってはいけない言葉』を注意し、外していくように編集した。起きた出来事に係った人が特定されないように編集をした。」

A 氏「戦争に対する取り組みが大切。新しい出来事ばかりではなく、戦争についてとりあげていくことも大切。残すことも放送局の大切な仕事だと思う。」

事務局「FMみはらとしてもこういった貴重な声を残して行く事ができるように積極的に取り組んでいきたい。」

第一号議案「番組審議について」

番組名：安全安心一口メモ

8月13日放送分 災害ボランティアについて

(三原市ボランティア市民活動サポートセンター 唐井様)

放送日：毎月第日曜日、月曜日～金曜日 6時33分～、12時～、20時～

事務局「三原市提供の番組、危機管理課の制作番組。昨年まではイブニングスペシャルのワンコーナーで5分×5回で構成していたが今年から10分の番組に変えた。安全安心な生活をしていく上でのワンポイントアドバイスを提供するというのがテーマ。防災に関する情報から警察署の新しい所長の紹介、春だったら急性アルコール中毒の注意喚起などまで、範囲は多岐に渡っている。また、危機管理課の方が出演して『緊急告知端末』『「災害情報メール」』などについて直接説明することもある。出演者によっては原稿をきっちり作成して、上司の確認が必要なところもある。出演者によって原稿の準備具合が違う。」

C 氏「出演したことがあるがラジオで話をすることに慣れていないのでどうしても原稿を作成しないと話せない。テーマによっては前年と同じことを話すこともある。」

事務局「どうしてもテーマが同じだと同じ事を話されることがある。ただ、これは注意することは毎年同じなので仕方ないと思っている。西日本豪雨災害があつてからは7月になると市長に注意喚起のメッセージを伝えて頂くなど毎年同じ内容になるがこれは大切なことなことだと思っている。」

A 氏「業種は違うがこういった企画は続けていくことが難しい。企画を継続するための内容を出し続けることが本当に難しい。」

事務局「他でも毎週出演者を変えて話をしてもらおう企画をやっていたが、続けていくことが難しくてやめた企画もある。」

A 氏「それを防ぐために自分達ではあまり飛ばさないようにゆっくりやるように指導している。飛ばし過ぎるとどうしても息切れしてやめることになる。だから、5回から1回にまとめたことは正解ではないかと思う。」

D 氏「同じ内容を繰り返し放送しているというクレームはないか？」

事務局「この番組についてはない。音楽番組においては同じものを流しているとクレームが入ったことがある。この『安全安心一口メモ』については一週間で内容が変わるので言われなくてもいいのかもしれない。内容については三原市危機管理課とも話を行い、季節の動向を鑑みながら決めている。いろんな方が出てもらえるように、いろんなトピックスを取り上げることができるようにしていきたい。」

事務局「今年は今のところ、緊急放送については1回しかやっていないが、こういった番組を通じ、一年間で注意をしないといけないポイントについて考えることはFMみはらにおいても良い時間になっていると思う。そのためにもいろんな方にも出てもらいたいと思う。」

A 氏「まったく別の話であるが警報内容によっては避難所が変わることがある。そのことが市民に伝わっていないと感ずることがある。」

C 氏「市民にどれだけハザードマップのような情報が伝わっているか、分からない。」

E 氏「ラジオを通じて市民に自分たちにどのような災害に対してどのような避難をすべきか、わかるように伝えていく必要がある。」

第二号議案「要望について」

- B 氏「昨日、ラジオを聴いていると『ラジオに出演してみては』という話をしていた。これはどのような企画か？」
- E 氏「『レッツ・シング・クリスマス』という企画。リスナーの方に自分の歌や演奏を収録した音源を持ってきてもらい、それを放送する企画。一般のリスナーに出演をしてもらっています。」